

令和 7 年度 社会学類編入学試験

【経済学】

専門科目問題冊子

(注意事項)

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは、経済学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・経済学の専門科目の問題冊子は、表紙を除いて 3 ページあり、問題 [A] と問題 [B] によって構成されています。問題 [A] と問題 [B] のすべての設問に解答してください。
- ・問題 [A] と問題 [B] のそれぞれについて解答用紙を 1 枚使用してください。解答の文頭には、設問番号を必ず記入してください。問題 [A] [問 1]、問題 [B] のように記入してください。設問番号が明記されていない場合、採点されないことがあります。
- ・解答欄が足りない場合には、解答用紙の裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面に続く」旨記入してください。

[問題 A]

- ・以下の問1から問4すべてに解答しなさい。
- ・答えの数値だけでなく、解答の過程も解答用紙に記述しなさい。

問1. 競争的市場で取引されるある財の部分均衡モデルを考える。価格を p とし、需要が $D(p) = 100 - p$ 、供給が $S(p) = p$ で与えられている。

- (1) 市場均衡価格と均衡取引量を求めなさい。
- (2) この市場均衡点における需要の価格弾力性を求めなさい。
- (3) 生産者に生産量1単位あたり t の従量税を課すとして、政府税収が最大になる t の値を求めなさい。
- (4) 上の (3) で求めた t の値における、消費者余剰、生産者余剰、死荷重の大きさを求めなさい。

問2. 100人の住民 $i = 1, 2, \dots, 100$ から成る社会を考える。各住民 i は、この社会の公共財生産のために、各自の寄付金額 g_i 万円を決める。ただし $0 \leq g_i \leq 10$ とする。各住民 i の利得は、

$$u_i(g_1, g_2, \dots, g_{100}) = 10 - g_i + a \left(\sum_{j=1}^{100} g_j \right),$$

ただし a は正の定数、で与えられるとする。

- (1) $a = 1.5$ とする。ナッシュ均衡点を求めなさい。
- (2) $a = 0.5$ とする。ナッシュ均衡点を求めなさい。
- (3) このモデルを用いて、ただ乗り（フリーライダー）問題が起こる仕組みを説明しなさい。

問3. 償還まで2年間、年間利子額が5、償還額が10である利付債の現在価格が、10であるとする。この利付債の年間利回りを求めなさい。

問4. マクロモデルにおいて IS 曲線が、実質利子率と所得の平面上で、右下がりの曲線となる理由を説明しなさい。

問題 [B]

令和 2 年（2020 年）に土地基本法が改正された。この件についての新聞記事を読み、以下のすべての問に解答せよ。

問 1 土地基本法が成立した時期はバブル期の平成元年（1989 年）である。バブル経済の発生と崩壊の歴史的経緯を不動産価格の動向と関連付けて説明せよ。（200 字以内）

問 2 「所有者がわからない土地は手入れがされず、周辺的生活環境が悪化する原因となるほか、防災やインフラ整備の障害となる」とあるように、所有者が不明の土地が全国に広がってきた大きな原因としてどのような要因があると考えられるかを指摘せよ。（50 字以内）

問 3 「『土地所有者』には適正な管理に関する責務があることを明確にする」ことにより、所有者が不明な土地の拡大によってもたらされる社会問題に対して過不足のない政策的対応が可能になるかどうか、について自分の意見を述べよ。

問 4 一般的に「公共の福祉」という観点から、土地の私的所有権を制限することはどこまで許されるべきと考えるか、自分の意見を述べよ。

出典：日本経済新聞、「土地適切管理、所有者の責務、法改正案、閣議決定。」2020 年 2 月 4 日、夕刊。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

令和 7 年度 社会学類編入学試験

【経済学】

外国語（英語）問題冊子

（注意事項）

- ・問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
- ・これは、経済学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・経済学の外国語（英語）の問題冊子は、表紙を除いて 7 ページあり、「問 1」～「問 6」によって構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答の文頭には、「問 1」などの設問の番号を必ず記入してください。設問番号が明記されていない場合、採点されないことがあります。
- ・解答用紙を 2 枚とも使用する場合は、何枚目かが明確にわかるように、文頭に 1 枚目、2 枚目の別を記入してください。
- ・解答用紙を 2 枚使用しても解答欄が足りない場合には、2 枚目の裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面に続く」旨記入してください。

問題文を読み、以下のすべての問に解答せよ。

問 1 下線部①“these stylized facts”を本文に基づき説明せよ。

問 2 下線部②に関して、コブ・ダグラス型の生産関数について説明せよ。

問 3 下線部③“the law of diminishing marginal productivity”を本文に基づき説明せよ。

問 4 下線部④を日本語に訳せ。

問 5 下線部⑤の比較の内容について本文の内容を要約せよ。

問 6 下線部⑥の比較の内容について本文の内容を要約せよ。

出典：Daron Acemoglu, ‘Economic Growth and Development in the Undergraduate Curriculum’, *The Journal of Economic Education*, April-June 2013, vol.44, No.2, pp.169-177.
を一部抜粋した。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)